

東しゃこたん漁業協同組合と D-RIDER、ドローンを活用した夜間密漁実態調査の実証を開始

― 夜間・沿岸部の監視をドローンで補完、密漁被害の「見えない実態」の可視化を検証 ―

株式会社エスプランニング（本社：北海道札幌市、代表取締役：福西伸康）が運営するドローン遠隔監視サービス「D-RIDER」は、古平町の地域パートナーであるディアベリー株式会社および東しゃこたん漁業協同組合と連携し、ドローンを活用した夜間の密漁実態調査に関する実証を開始します。

■ 背景 ― 「密漁の疑いはある。しかし実態が分からない」

沿岸地域における密漁対策では、広い海岸線を夜間に継続して監視することが難しく、人員による巡回だけでは活動の実態を把握しきれないという課題があります。

東しゃこたん漁業協同組合においても、密漁が疑われる状況について一定の認識がある一方、「いつ、どの程度、どのような活動が行われているのか」という被害実態の把握が難しい状況があります。

そこで今回、D-RIDER のドローンを活用し、夜間の沿岸域を上空から調査することで、不審な船舶や人の活動を把握できるか、その有効性を検証します。

■ 実証の目的

今回の実証は、密漁者の摘発そのものを目的とするものではありません。

夜間の沿岸域においてドローンを活用することで、

- 船舶等の活動状況
- 海岸付近での人の活動
- 活動する時間帯や場所
- 滞在時間や移動状況
- 可視カメラ・サーマルカメラによる夜間確認能力

などを記録し、これまで把握することが難しかった夜間沿岸活動の実態を可視化できるかを検証します。

実証を通じて、密漁が疑われる活動を確認した場合には、その状況を適切に記録するとともに、漁業協同組合や関係機関との連携に活用できる可能性についても検証します。

■ 夜間・目視外飛行を想定した実運用検証

沿岸部の継続的な監視では、操縦者の目視可能範囲だけでは十分な調査範囲を確保できません。

今回の実証では、関係法令および必要な許可・承認等に基づく安全管理体制を構築したうえで、夜間および目視外での運用を想定しています。

単なる空撮ではなく、実際の地域課題に対してドローンによる遠隔監視がどこまで実用的な手段となるのかを検証します。

■ 「人が監視し続けることが難しい場所」をドローンで補完

D-RIDER は、ドローンそのものを提供するサービスではなく、地域における「監視の空白」をドローンと遠隔運用によって補完することを目指しています。

今回の密漁実態調査に加え、山間部におけるヒグマ等の大型野生動物の確認、山岳作業前の安全確認、災害発生時の状況把握、インフラ巡視などへの活用も想定しています。

沿岸部では「密漁監視」、山間部では「安全確認」。

異なる課題に見えますが、共通するのは、

「人が常時監視することが難しい場所を、ドローンで確認する」

という考え方です。

■ 実証結果を今後の地域安全対策へ

実証期間中は、飛行回数、監視時間、調査範囲、船舶・人等の確認状況などを記録し、ドローンによる夜間沿岸監視の有効性と課題を検証します。

実証終了後には結果を取りまとめ、今後の密漁対策や地域におけるドローン活用の可能性について検討する予定です。

D-RIDER では今回の取り組みを、北海道の沿岸地域における新たな監視モデルを検討するための第一歩と位置付けています。

■実証体制

東しゃこたん漁業協同組合

漁業現場の知見提供、調査対象地域に関する情報提供

ディアベリー株式会社

D-RIDER 古平地域パートナーとして現地調整・運用支援

株式会社エスプランニング（D-RIDER）

ドローン運航、遠隔監視、飛行安全管理、調査データの取得・分析

■D-RIDER について

D-RIDER は、株式会社エスプランニングが展開する地域分散型ドローン運用サービスです。

地域に配置したドローンと遠隔運用技術を組み合わせ、密漁対策、鳥獣確認、山岳作業安全支援、インフラ巡視、災害時の状況確認など、人口減少地域におけるさまざまな課題の解決を目指しています。

「人が見続けられない場所を、空から見守る。」

地域にドローンを配置し、必要なときに必要な場所を確認できる新しい地域インフラの構築を目指します。

本件に関するお問い合わせ

株式会社エスプランニング

泊支社 D-RIDER 事業部 0135-67-7985

Web : <https://drider.jp/>